

全6冊 + 付録4つ

治療院AIハンドブック

腕はそのまま。
院の事務仕事を、AIに手伝ってもらおう。

治療院ネクスト

加藤 賢

2026年8月

も く じ

序 はじめに — このハンドブックの読み方

5分

全体像・所要時間・先に伝えておきたいこと

1 そもそも、AIってなに？

10分

AIが何者か分かる（まだ何も入れません）

2 Claude Codeってなに？（治療院の場合）

10分

「何ができる道具なのか」が分かる

3 入れて、動かしてみる

12分

自分のパソコンで実際に動く

4 院の「取扱説明書」を作る

12分

AIが自分の院のことを覚える

5 治療院の実作業をやらせる

15分

ブログ・LINE・口コミ・数字が回り出す

6 「やっといて」で動く仕組みにする

12分

決まり仕事がひと言で終わる（最終回）

付 録

A そのまま使える「お願い文」30本

辞書

迷ったらここから写すだけ

B カタカナ語ミニ辞典

辞書

分からない言葉が出てきたらここ

C 患者さんの情報とAI

8分

AIに入れていいもの・ダメなもの（導入前に必読）

D 広告のルールとAI

10分

書いていいこと・ダメなこと（発信前に必読）

はじめに — このハンドブックの読み方

はじめに

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

このハンドブックを手にとってくださって、ありがとうございます。

私は新宿で整体院をやりながら、ひとり治療院の先生の相談にのっています。
その中で、いちばん多く聞く言葉があります。

「施術の時間より、それ以外の時間のほうが長い気がする」

ブログを書く。インスタを更新する。LINEに返す。口コミに返信する。
月末に売上をまとめる。回数券の説明文を考える。問診票を作り直す。

どれも、患者さんを診ていない時間です。

でも、やらないと院がまわらない。だから夜にやる。休みの日にやる。

このハンドブックは、その時間を減らすための本です。

このハンドブックで何ができるようになるか

「AI」と聞くと、むずかしそうに聞こえます。

でもお伝えするのは、たった1つのことです。

パソコンの中に、事務のスタッフを1人、置く。

読み終わるころには、こんなことができるようになっています。

- ブログ1本の下書きを、数分でもらう
- 口コミへの返信を、院の雰囲気に合った言葉で書いてもらう
- 月末の売上・新患数を、まとめてもらう
- 「毎週やっている決まり仕事」を、ひと言で終わらせる

むずかしいことは、しません。

やることは「お願いする」だけです。

もくじ

冊	タイトル	読む時間の目安	手に入るもの
1冊目	そもそも、AIってなに？	約10分	AIが何者か分かる（ まだ何も入れません ）
2冊目	Claude Codeってなに？（治療院の場合）	約10分	「何ができる道具なのか」が分かる
3冊目	入れて、動かしてみる	約12分	自分のパソコンで実際に動く
4冊目	院の「取扱説明書」を作る	約12分	AIが自分の院のことを覚える
5冊目	治療院の実作業をやらせる	約15分	ブログ・LINE・口コミ・数字が回り出す
6冊目	「やっというて」で動く仕組みにする	約12分	決まり仕事がひと言で終わる

付録

付録A	そのままコピーして使える「お願い文」30本	迷ったらここから写すだけ
付録B	カタカナ語ミニ辞典	分からない言葉が出てきたらここ
付録C	患者さんの情報とAI — AIに入れていいもの・ダメなもの	導入前に必ず読んでください
付録D	広告のルールとAI — 書いていいこと・ダメなこと	発信を始める前に必ず読んでください

読み方（3つだけ、お願いします）

1. 順番に読んでください

1冊目から順番に読める形にしてあります。

とくに **3冊目（入れる）** を飛ばすと、その先が動きません。

1冊目・2冊目は、読むだけです。 何も入れませんし、何も契約しません。

「自分に使えるそうか」を判断してから、3冊目に進んでください。

2. 読むだけで終わらせないでください

各冊の最後に「**明日の一步**」を1つだけ書いています。

本当に、1つだけです。

読んだ日にそれをやってください。

やらないと、このハンドブックはただの読み物で終わります。

1つやると、次の日にもう1つやりたくなります。 そういう作りにしてあります。

3. 全部おぼえようとしないでください

カタカナの言葉がいくつか出てきます。おぼえなくていいです。

分からなくなったら **付録B（ミニ辞典）** を見てください。

それでも分からなければ、公式LINEでそのまま聞いてください。

先に、正直にお伝えしておくこと

● 途中からお金がかかります

1冊目・2冊目は無料でできます。 AIを試すだけなら、お金はかかりません。

3冊目から出てくる **Claude Code** を使うには、
月に 20ドル（日本円でおおよそ3,000円前後。為替で変わります） の契約が必要です。

高いか安いかは、2冊目まで読んでから判断してください。

● 万能ではありません

AIは、**施術はできません**。患者さんの体には触れません。
できるのは、**先生が施術に集中できるように、まわりの仕事を引き受けること**だけです。

そして、まちがえることもあります。

出てきたものを、必ず先生の目で確認してください。 ここは最後まで人の仕事です。

● 患者さんの情報の扱いには、線引きが必要です

これはとても大事なので、**付録C** に1冊分としてまとめました。
実際に使い始める前に、必ず目を通してください。

● 広告のルールは、資格によって違います

接骨院・鍼灸院・整体院では、**かかる法律が違います**。
AIはこの線引きを分かっていません。**付録D** にまとめたので、発信を始める前に読んでください。

それでは、はじめましょう

パソコンが苦手でも大丈夫です。
私も、もともと得意ではありませんでした。

1冊目は、読むだけです。 何も準備は要りません。

では、1冊目からいきましょう。

※ このハンドブックの内容は2026年8月時点のものです。料金や画面は変わることがあります。

※ つまずいたところは、公式LINEでそのまま聞いてください。返信します。

そもそも、AIってなに？

1冊目で分かること

1. AIとは、結局なんなのか（むずかしい説明はしません）
2. 検索（Google）と、どう違うのか
3. 実際に、どんなふうを使うものなのか

読む時間：約10分

まだ何も入れなくて大丈夫です。読むだけで進みます。

0. はじめに — 私のことを少しだけ

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

これから何冊も読んでもらうので、先に「誰が書いているのか」をお伝えします。

私は治療院を **4店舗** まで広げて、そのうち **3店舗を譲渡** しました。

いまでも **現役で、施術に立っています**。

そして、正直に書きます。

私は、Webもソフトも苦手でした。

パソコンの前に座ると、それだけで時間が溶けていく。

ブログを書こうとして、結局その日は何も出せずに閉じる。

「やらなきゃいけないのは分かっている」——ずっと、その状態でした。

だからこのハンドブックには、専門用語もプログラミングも出てきません。

苦手なままで回せた方法だけを書いています。

1. 正直、よく分からないまま来ていませんか

ここ2〜3年、どこを見ても「AI」「AI」と言われています。

テレビでも、ネットでも、同業の先生の投稿でも。

でも、正直こうじゃないでしょうか。

「すごいらしいのは分かる。でも、結局それが何なのかはよく分からない」

「どうせパソコンが得意な人の話でしょう」

「うちみたいな小さい院には、関係ない気がする」

私も、まったく同じでした。

なので1冊目は、**AIとは何なのか**という、いちばん手前の話だけをします。

ここでは、何も入れませんし、何も契約しません。 読むだけです。

2. AIとは、ひとことで言うと

いろいろな説明の仕方がありますが、先生に必要なのはこれだけです。

とんでもない量の文章を読んで、
「人がどう答えるか」がうまくなった道具。

それだけです。

もう少しだけ足すと、こういうことです。

AIは、世の中にある本・記事・ホームページ・論文.....そういう文章を、
人が一生かかっても読み切れない量、読んでいます。

その結果、「**こう聞かれたら、人はだいたいこう答える**」というのが、
ものすごく上手になりました。

だから、

- 「肩こりのブログを書いて」→ 書ける
- 「この文章、やわらかくして」→ やわらかくできる
- 「この口コミに返信して」→ 返信文が作れる

考えているというより、「いちばんそれらしい答えを組み立てている」。
このイメージを持っておいてください。

あとで出てくる「AIはまちがえる」という話も、ここから来ています。

3. じゃあ、検索（Google）と何が違うの？

ここがいちばん分かりやすい入口だと思います。

先生も、Googleで調べものはしますよね。

AIは、あれとは**役割がまったく違います**。

	Google（検索）	AI
やってくれること	探す	作る
返ってくるもの	ホームページの一覧	答えの文章そのもの
そのあと	自分で読んで、自分でまとめる	もうまとまっている

具体例です。

Googleに「**肩こり ブログ 書き方**」と入れると

→ ホームページが10件出てくる。何本か開いて読んで、参考にして、**そこから自分で書く**。

AIに「**肩こりのブログを書いて**」と言うと

→ **ブログの文章そのものが出てくる**。

つまり、

Googleは「調べる」道具。
AIは「やってもらう」道具。

先生が本当にしんどいのは、調べることじゃなくて、**そのあと自分で書くこと**ですよ。
そこを引き受けるのがAIです。

4. どんなふうにするのか（実際のやりとり）

「使い方」と言われてもピンと来ないと思うので、
実際のやりとりをそのままお見せします。

むずかしい操作は、ひとつも出てきません。

LINEと同じで、**打ち込んで送るだけ**です。

先生：

肩こりで来られた40代の女性の患者さんに向けて、
家でできるストレッチを紹介するブログを書いてください。
専門用語は使わないで、やさしい言葉をお願いします。

AI：

【デスクワークの肩こり、家でできる3つのストレッチ】
こんにちは。〇〇整体院です。
「夕方になると肩が重い」「首を回すとゴリゴリ鳴る」——
デスクワークをされている方から、よくこんなお話をうかがいます。
...（このあと本文が続く）

先生：

ありがとう。もう少し短くして。あと、最後に予約の案内を1行入れて。

AI：

（短くなって、最後に予約の案内が入ったものが出てくる）

これだけです。

ポイントは2つあります。

● 会話のように、何度でも直せる

一発で完璧なものを出させる必要はありません。

「もっと短く」「もっとやさしく」「その言い方はうちっぽくない」——
そう言えば、そのつど直してくれます。**やり直しはタダです。**

● 敬語じゃなくていい・きれいな文じゃなくていい

「肩こり ブログ 短めで やさしい言葉で」だけでも通じます。

話しかけるように打てば大丈夫です。

5. 上手に願ひする、たった3つのコツ

AIは「察する」のが苦手です。

逆に言うと、言えと言うほど、ちゃんとしたものが返ってきます。

コツはこの3つだけです。

① 誰に向けたものか、を言う

X「ブログを書いて」

○「**デスクワークの40代女性に向けて**、ブログを書いて」

② どんな言い方がいいか、を言う

X「ブログを書いて」

○「**専門用語を使わず、やさしい言葉で**、ブログを書いて」

③ 長さ・数を言う

X「案を出して」

○「**3案、それぞれ100文字くらいで**出して」

この3つを足すだけで、出てくるものが別物になります。

うまくいかないときは、たいてい「**言葉が足りない**」だけです。

AIの性能の問題ではありません。

6. よくある4つの誤解

先生からよく聞かれることに、先にお答えしておきます。

誤解①「AIは、なんでも知っている」

ちがいます。まちがえます。

AIは、それっぽく見えても事実じゃないことを、**堂々と書いてくることがあります**。
悪気はありません。「いちばんそれらしい答え」を組み立てているだけだからです。

なので、**出てきたものは必ず先生の目で確認してください**。

とくに、**体の話・症状の話・効果の話**は要注意です。

治療院には、書いてはいけない表現があります（「治る」「必ず治ります」など）。
しかも、**接骨院・鍼灸院・整体院では、かかる法律が違います**。

AIは、この線引きを分かっていません。最後のチェックは、ずっと人の仕事です。
くわしくは **付録D（広告のルールとAI）** にまとめました。

誤解②「AIに仕事を取られる」

これは、こう考えてください。

仕事がAIに取られるのではなく、
AIを使える人に、仕事がわたっていく。

治療院の施術は、AIにはできません。体には触れませんから。
取られるのは、**施術以外の、パソコンの前の時間**だけです。
むしろ、取ってもらったほうがいい時間です。

誤解③「パソコンが得意な人のものでしょう」

逆です。

パソコンが得意な人は、もともと作業が速いので、そこまで恩恵がありません。

時間がかかっている人ほど、浮く時間が大きい。

しかも、必要なのは「話しかける力」です。

先生は毎日、患者さんに分かりやすく説明していますよね。あれができれば十分です。

誤解④「うちみたいな小さい院には関係ない」

これも逆です。

大きい院には、事務のスタッフがいます。ブログを書く人がいます。

ひとり院には、いません。全部、先生がやっています。

いちばん人手が足りていない院が、いちばん助かります。

7. AIにも、いろいろな種類があります

「AI」とひとことで言いますが、中身はけっこう違います。
ざっくり4つだけ知っておけば十分です。

種類	何をしてくれるか	有名なもの
文章のAI	書く・直す・まとめる・答える	ChatGPT、Claude、Gemini
絵のAI	イラストや画像を作る	Midjourney など
声のAI	文章を読み上げる／声を作る	—
パソコンの中で働くAI	文章を書いて、保存して、整理までする	Claude Code

治療院で最初に効くのは、**いちばん上の「文章のAI」**です。
ブログ・LINE・口コミ返信・インスタ、全部これです。

そして、そのさらに先にあるのが、**いちばん下**です。

上の3つは、**出てきたものを先生がコピーして、自分で貼りにいく**必要があります。
いちばん下だけは、**先生のパソコンの中に入って、保存や整理まで自分でやります**。

これが、次の冊でお話しする **Claude Code（クロードコード）** です。

8. お金の話（ここまでの分だけ）

安心してください。**ここまでの話は、無料でできます**。

ChatGPT も Claude も Gemini も、**無料で使えるプランがあります**。
今日これを読み終わったあと、すぐ試せます。

お金がかかるのは、**2冊目から出てくる Claude Code** のほうです（月3,000円ほど）。
まずは無料の範囲で、**AIに話しかける感覚**だけ持ち帰ってください。

9. ひとつだけ、先にはお願いします

無料で試すときも、これだけは守ってください。

患者さんの氏名・住所・電話番号・カルテの中身を、そのまま打ち込まない。

AIに打ち込んだ文章は、先生のパソコンの外に出ていきます。

だから、**患者さんが特定できる情報は入れない**。これだけです。

「Aさん、50代女性、腰痛」——このくらいに置きかえれば大丈夫です。

くわしいルールは **付録C** にまとめました。

本格的に使い始める前に、必ず読んでください。

1冊目でできるようになったこと

- ☐ AIは「大量の文章を読んで、人の答え方がうまくなった道具」だと分かった
 - ☐ Googleは「探す」、AIは「作る」という違いが分かった
 - ☐ お願いのコツ（誰に・どんな言い方で・どのくらいの長さ）を知った
 - ☐ AIはまちがえるので、最後は自分で確認すると分かった
 - ☐ 患者さんの情報はそのまま打ち込まないと決めた
-

明日の一步

無料のAIに、1つだけ質問してみてください。

やり方は、これだけです。

1. スマホかパソコンで **ChatGPT** (chatgpt.com) を開く
2. 無料のまま、下の入力欄に打ち込む
3. 送る

打ち込む文は、これをそのまま写してください。

治療院のブログのネタを、5つ出してください。

読む人は、デスクワークで肩こりに悩んでいる40代の女性です。

これだけで、AIの手ざわりが分かります。

多くの先生が「思ったより普通だな」と言います。それでいいんです。

特別なものではなく、道具です。

次は2冊目です

AIがどういうものか分かったところで、次は本題です。

2冊目では、さっきの表のいちばん下、

「**パソコンの中に入って働くAI**」 = **Claude Code** の話をします。

コピーして貼る手間さえなくなると、何が起きるのか。

そこをお伝えします。

読んでいて分からないところがあったら、公式LINEでそのまま聞いてください。

Claude Codeってなに？ (治療院の場合)

2冊目で分かること

1. 1冊目に出てきた「**パソコンの中で働くAI**」とは何か
2. **コピーして貼る手間がなくなると、何が変わるのか**
3. それを入れると、**先生の1日がどう変わるのか**

読む時間：約10分

1. まず、先生の1日を数えてみてください

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

いきなりですが、思い出してみてください。

先週、施術以外のことに、何時間つかいましたか？

紙に書き出してみてください。たとえば、こういう項目です。

- ブログを書いた
- インスタの投稿文を考えた
- 口コミに返信した
- LINEの一斉配信の文を練った
- 月末の売上をエクセルにまとめた

数えてみると、たいてい思っていたより多いはずです。

しかも、これ全部 **1円にもなっていない時間** です。

患者さんは診ていない。技術も上がらない。でも、やらないと院がまわらない。

ひとり院の先生は、ここを全部ひとりでやっています。

だから夜にやる。休みの日にやる。そして、続かなくなってブログが止まる。

その時間を減らす話を、これからします。

2. 1冊目の表の、いちばん下の話です

1冊目で、AIには種類があるとお伝えしました。もう一度だけ出します。

種類	何をしてくれるか
文章のAI	書く・直す・まとめる・答える
絵のAI	イラストや画像を作る
声のAI	文章を読み上げる／声を作る
パソコンの中で働くAI	文章を書いて、保存して、整理までする

ここでは、その**いちばん下**の話だけをします。

その道具の名前が **Claude Code**（クロードコード）です。

● 上の3つと、何が違うのか

ChatGPT のような「文章のAI」は、とても便利です。1冊目で試していただいたとおりです。

ただ、**できるのはそこまで**です。

出てきた文章は、**先生が自分でコピーして、自分でブログに貼りにいく**。

ファイルを開くのも、名前をつけて保存するのも、フォルダに入れるのも、全部先生の手作業です。

「相談にはのってくれるけど、手は動かしてくれない人」

そんなイメージです。

● Claude Code は、手を動かします

Claude Code は、**先生のパソコンの中に入って、直接作業してくれるAI**です。

- ファイルを開く
- 文章を書く
- 名前をつけて保存する
- フォルダを整理する
- インターネットで調べる

これを、**まとめて全部やってくれます**。

コピーして、貼る。

この往復が、まるごと無くなります。

「たったそれだけ？」と思われたかもしれません。

でも、**この往復こそが、いちばん続かない原因**です。あとで理由をお話しします。

3. たとえばなら、こういうことです

	文章のAI（ChatGPTなど）	Claude Code
できること	相談にのる・答える	相談にのって、作業までやる
場所	ネットの中	先生のパソコンの中
ファイルの保存	先生がやる	AIがやる
たとえばなら	電話で相談できる先輩	院に来て働いてくれるスタッフ

治療院で言えば、こういう違いです。

- **文章のAI** = 電話で「この患者さん、どう対応したらいい？」と聞ける先輩
- **Claude Code** = 受付に座って、実際に電話に出て、予約を書き込んでくれるスタッフ

どちらが助かるかは、言うまでもないと思います。

4. 治療院だと、具体的に何が変わるのか

ここがいちばん大事なところです。

「AIってすごいらしい」で終わらせないために、**先生の院で起きることを具体的に書きます。**

● ブログ

今まで：ネタを考える → ゼロから書く → 見出しを整える

これから：「腰痛で来た50代男性の症例をブログにして。専門用語は使わずに」とお願いする → **下書きが数分で出てくる** → そこから先生が手直しして完成

※ 手直しの時間は別にかかります。**ゼロが埋まるまでが速い**、ということです。

ゼロから書くのと、直すのとでは、しんどさが全然ちがいます。

● 口コミへの返信

今まで：何を書けばいいか迷って、後回しになる

これから：口コミの文をそのまま渡して「うちの院らしい言葉で返信文を作って」とお願いする → **数十秒で3案出る** → いちばん近いものを選んで直す

しかも一度「うちの院らしさ」を覚えさせれば（4冊目でやります）、毎回同じ雰囲気です。

● LINEの一斉配信

今まで：送る内容を考えるのに40分。結局送らない月もある

これから：「9月の予約が空いている。押しつけがましくない案内文を3パターン」 → **すぐ出る**

● インスタ・ショート動画

今まで：投稿文とハッシュタグを毎回考える

これから：動画のテーマを伝えるだけで、投稿文・ハッシュタグ・サムネの文字案までまとめて出る

● 月末の数字まとめ

今まで：エクセルとにらめっこして1時間

これから：予約データのファイルを渡して「今月の新患数とリピート率を出して。先月と比べて」→ **表にして出してくれる**

ここは特に大きいです。

数字を見るのがしんどいから見ない、という先生はとも多い。

AIにやらせると、見るのが5分になります。見ると、打ち手が変わります。

そして、これは**文章のAIには頼めません**。

先生のパソコンの中にあるファイルを、開いて読む必要があるからです。

● 問診票・院内の説明文

「回数券の説明を、押し売りに聞こえない言い方で」

「初診の方への注意事項を、A4一枚にまとめて」

こういう「作らなきゃと思って3年放置しているもの」が、その日のうちに片づきます。

5. さっきの「コピーして貼る」の話にもどります

なぜ、あの往復がそんなに大事なのか。

理由はシンプルです。

人は、めんどうなことを、やめるからです。

ブログが止まる先生は、書けないから止まるわけではありません。

「書いて、コピーして、ログインして、貼って、画像を選んで、公開する」

——この一連が重いから、来週にまわす。そして止まる。

Claude Code は、この重さを削ります。

1回あたり10分の差でも、**続くか止まるかの差**になります。

発信は、うまさより回数です。 続いた院が勝ちます。

6. 「黒い画面」がこわい先生へ

正直にお話しします。

Claude Code は、もともと **黒い画面に文字を打ち込んで使う道具** でした。

これを見た瞬間に「無理」と思う先生が、たくさんいます。私も最初はそうでした。

ただ、いまは **パソコンのアプリ版（デスクトップアプリ）** があります。

LINEやZoomと同じように、**アイコンをダブルクリックして開くだけ**です。

見た目は、ふつうのチャット画面です。

LINEのトーク画面に、お願いごとを打ち込む。それだけです。

黒い画面は、使わなくてもかまいません。

このハンドブックでも、アプリのほうを中心にご案内します。

7. お金の話（正直に）

きれいごとを言ってもしかたないので、はっきり書きます。

かかるお金

月20ドル（日本円でおおよそ3,000円前後。為替で変わります）

これが「Proプラン」という契約です。

無料のプランでは Claude Code は使えません。 ここは押さえておいてください。

（もっと本格的に使う「Maxプラン」は月100ドル~ですが、**先生にはまず必要ありません。** Proで十分です。）

この金額を、どう見るか

先生の1時間の単価で考えてみてください。

自費で6,000円の施術を1時間でやっている先生なら、**1時間＝6,000円**です。

つまり、**月に30分ぶんの事務が減れば、それでもう元は取れます。**

どれだけ減るかは、使い方しだいです。**まったく使わなければ、ただの3,000円**です。

そこは正直に書いておきます。

もちろん、**使わなければただの3,000円**です。

だからこのハンドブックは、「使えるようになる」ところまで書いてあります。

8. できないこと・気をつけること

1冊目でもお伝えしましたが、大事なので繰り返します。

● 施術はできません

当たり前ですが、患者さんの体には触れません。

AIができるのは、**先生が施術に集中できるように、まわりを片づけること**だけです。

● まちがえます

「それっぽいけど、事実じゃないこと」を、堂々と書いてきます。

出てきたものは、必ず先生目で確認してください。

とくに、**体の話・症状の話・効果の話**は要注意です。

書いてはいけない表現（治る、必ず治る、など）の線引きを、AIは分かっています。

しかも、**資格によってかかる法律が違います（→ 付録D）**。

● パソコンの中で動くぶん、注意も要ります

Claude Code は、先生のパソコンのファイルに触れます。

便利な反面、「消して」と言えば消してしまうということでもあります。

こわがる必要はありません。**触っていい場所を1つ決めて、そこだけで使う**——

このやり方を、次の3冊目でご案内します。

● 患者さんの情報は、そのまま渡さないでください

氏名・住所・電話番号・カルテの中身などを、そのまま打ち込むのはやめてください。

A様・B様に置きかえるなどのやり方があります。

くわしくは **付録C** にまとめました。**実際に使い始める前に、必ず読んでください。**

9. 最後に、これだけ覚えて帰ってください

腕はそのまま。変えるのは、施術していない時間の使い方だけです。

技術がある先生はたくさんいます。腕は、みんな一定以上あります。

その中で選ばれるかどうかは、**患者さんに届いているかどうか**で決まります。

届けるためには、書かないといけない。発信しないといけない。

でも、その時間がない。だから止まる。

Claude Codeは、そこを埋める道具です。

2冊目でできるようになったこと

- ☐ Claude Code は「パソコンの中で働くスタッフ」だと分かった
 - ☐ 文章のAIとの違い（コピーして貼る手間がない）が説明できる
 - ☐ 自分の院のどの仕事を任せたいか、1つ思いついた
 - ☐ 月3,000円くらいかかることを理解した
 - ☐ パソコンの中を触るぶん、使う場所を決める必要があると分かった
-

明日の一步

紙でもスマホのメモでもいいので、こう書いてください。

「私がAIに、いちばん最初にやらせたい仕事は ○○ だ」

1つだけです。ブログでも、口コミ返信でも、数字まとめでも構いません。

これを決めておくと、3冊目で実際に動かしたときに、

その場ですぐ試せます。 「入れたけど何をしたいかわからない」が、いちばん多い脱落ポイントです。

次は3冊目です

次は、いよいよ **実際にパソコンに入れて、動かします。**

用意しておくものは、この2つだけです。

- **パソコン**（Windows 10以降／Mac は macOS 13以降）
- **メールアドレス**

それだけです。では、3冊目でお会いしましょう。

読んでいて分からないところがあったら、公式LINEでそのまま聞いてください。

入れて、動かしてみる

3冊目で分かること

1. 何を用意して、どの順番でやればいいのか
2. 触っていい場所（作業フォルダ）の決め方
3. 最初のひと言を打ち込んで、実際に動かす

読む時間：約12分

ここから、実際に手を動かします。

0. はじめに、心の準備をひとつだけ

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

ここから作業に入ります。

でも、**今日ぜんぶ終わらせなくて大丈夫です。**

やることは4つ。それぞれ5～10分です。

手順	やること	かかる時間
ステップ1	アカウントを作る	約5分
ステップ2	Proプランに入る（月3,000円ほど）	約5分
ステップ3	アプリを入れる	約5分
ステップ4	「作業フォルダ」を1つ作る	約3分

分けてやってもかまいません。途中で止まっても、次の日に続きからで大丈夫です。

用意するものは、この2つだけです。

- **パソコン**（Windows 10以降、または macOS 13以降のMac）
- **メールアドレス**（普段使っているもので大丈夫です）

支払いに **クレジットカード** も要ります。院の経費で使うなら、事業用のカードのほうが後で楽です。

ステップ1 | アカウントを作る（約5分）

1. パソコンで **claude.ai** を開く
2. 「Sign up（サインアップ）」を押す
3. メールアドレスを入れる（Googleアカウントでも入れます）
4. 届いた確認メールの中の番号を入れる

これで終わりです。ここまでは無料です。



サインアップ画面

メモ

ここで作ったアカウントが、そのまま Claude Code のアカウントになります。

メールアドレスとパスワードは、必ずどこかに控えておいてください。あとで必ず必要になります。

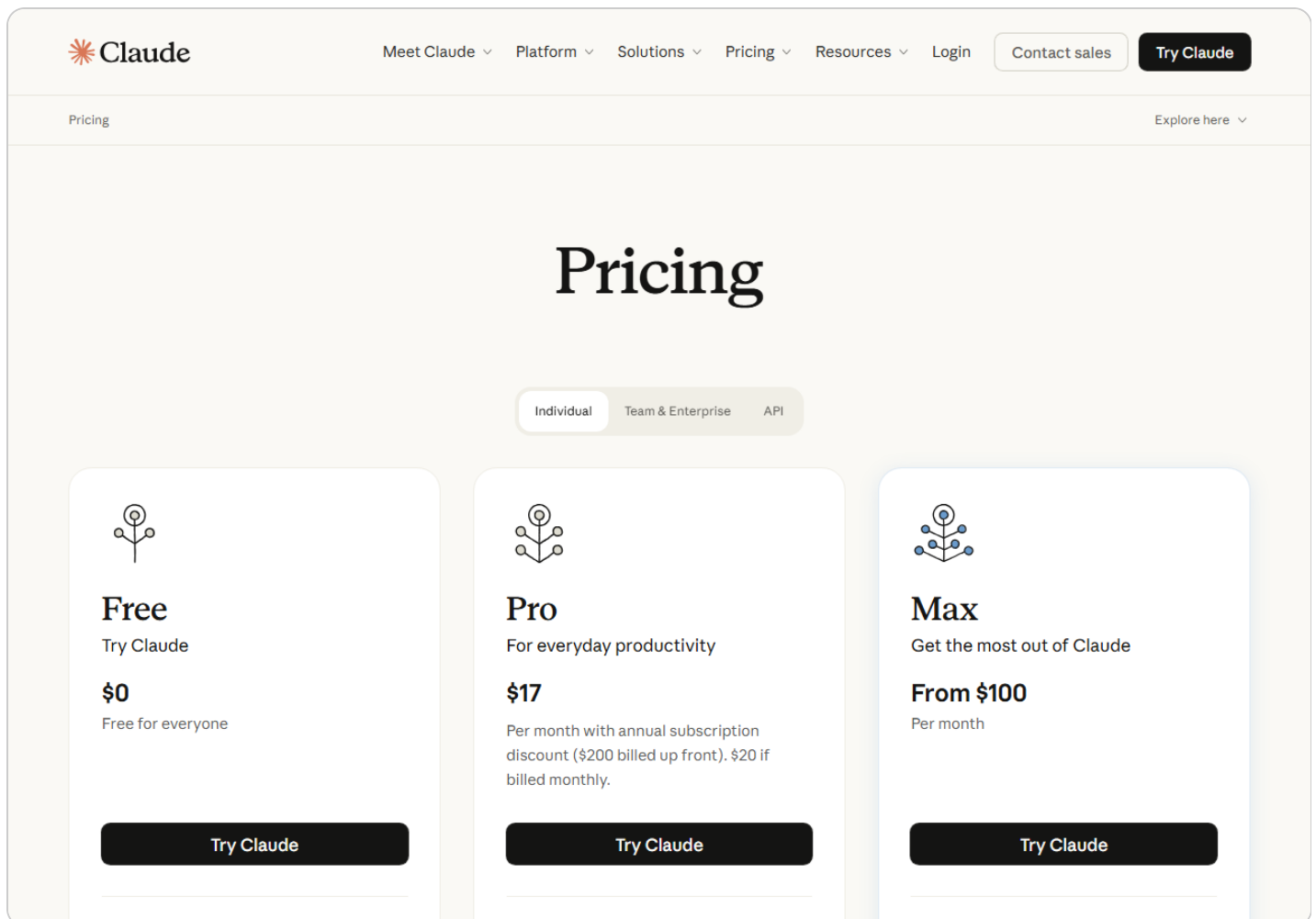
ステップ2 | Proプランに入る（約5分）

無料のままでは Claude Code は使えません。**Proプラン**に入ります。

1. 画面の左下（または右上）にある自分の名前・アイコンを押す
2. 「Upgrade（アップグレード）」または「プラン」を押す
3. **Pro** を選ぶ
4. クレジットカードの情報を入れる

月20ドル（およそ3,000円前後）です。年払いにすると少し安くなります。

まずは**月払い**で始めることをおすすめします。合わなければ止められるからです。



プラン選択画面

※ 画面には \$17 と出ますが、これは年払いにした場合の、月あたりの金額です。

月払いは \$20 です。まずは月払いで始めてかまいません。

注意

Maxプラン（月100ドル～）は選ばなくて大丈夫です。

一日中AIを動かし続けるような使い方をする人向けです。先生の使い方なら、Proで足りません。

ステップ3 | アプリを入れる（約5分）

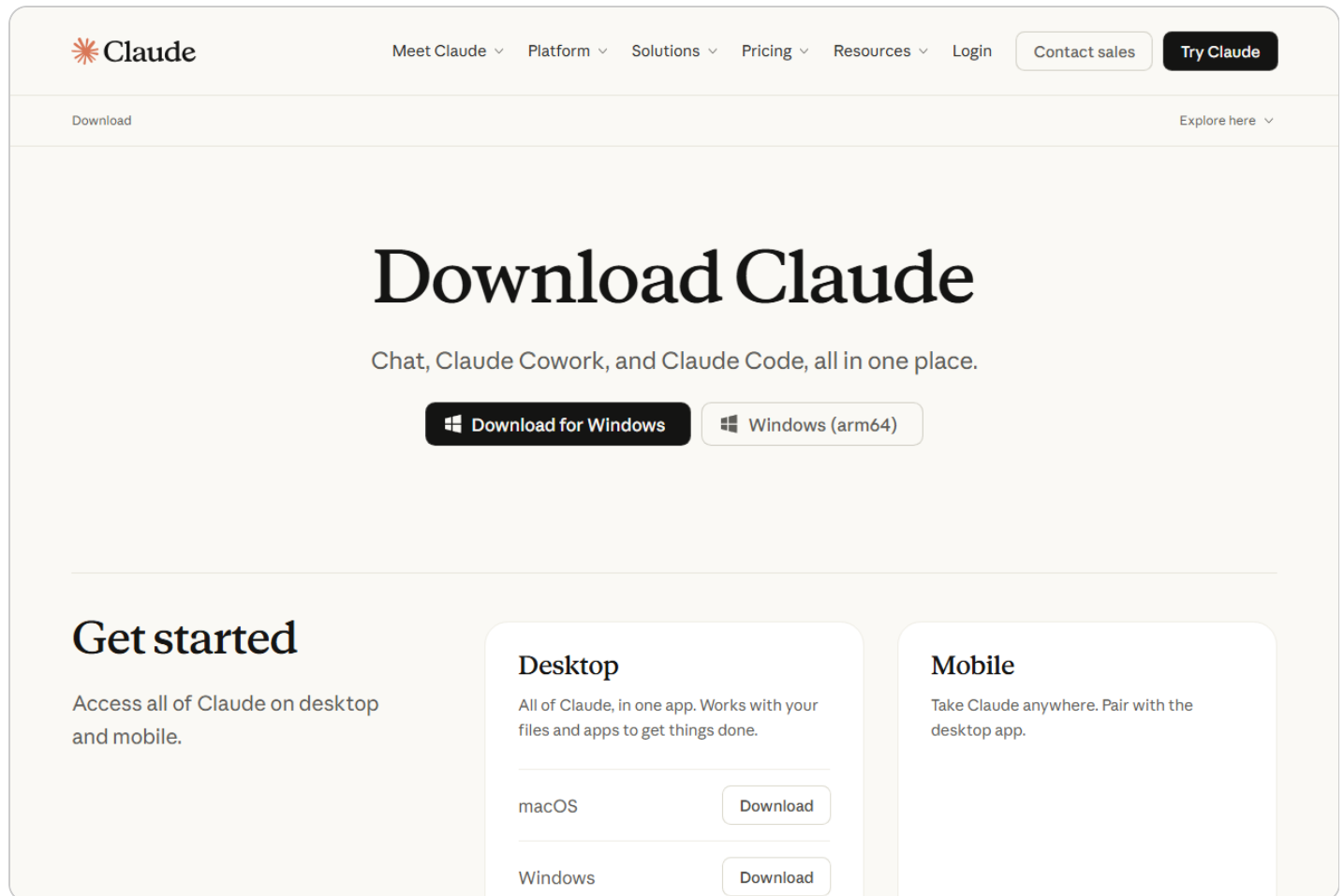
ここが、多くの先生が身構えるところです。**でも大丈夫です。**

Claude Code は、もともと「黒い画面」で使う道具でした。

いまは、**LINEやZoomと同じ、ふつうのアプリ**が用意されています。

やり方

1. パソコンで **claude.com/download** を開く
2. 自分のパソコンに合うほう（Windows / Mac）を押す
3. ダウンロードされたファイルをダブルクリック
4. 画面の案内どおりに進める
5. 入れ終わったら開いて、**ステップ1で作ったアカウントでログイン**



ダウンロードページ

※ この画面は、お使いのパソコンに合わせて Windows / Mac が自動で切り替わります。
上の画像は Windows のパソコンで開いたときのものです。

ログインの画面は、ステップ1で見たものと同じです。
メールアドレスを入れるか、「Googleで続ける」を押すだけです。

これで、先生のパソコンにAIが入りました。

見た目は、**LINEのトーク画面**とほとんど同じです。

下に入力らんがあって、そこに打ち込んで送る。それだけです。

黒い画面を使いたい人へ

パソコンに慣れている先生は、黒い画面（ターミナル／PowerShell）から使うこともできます。

でも、このハンドブックではアプリのほうだけを使います。無理に覚える必要はありません。

ステップ4 | 「作業フォルダ」を1つ作る（約3分）

ここが、いちばん大事なところです。

飛ばさないでください。ここをやっておくと、あとがずっと安全で、ずっと楽になります。

なぜ必要か

Claude Code は、先生のパソコンの中のファイルを**読んだり、書いたり、消したり**できます。

とても便利です。でも、裏を返すと**大事なファイルも触れてしまう**ということです。

だから、こうします。

「**ここだけ触っていいよ**」という部屋を、ひとつ用意する。

治療院で言えば、**施術室と、事務所を分ける**のと同じです。

AIには、**事務所**だけ使ってもらいます。

やり方

1. パソコンの「ドキュメント」フォルダを開く
2. 何もないところで右クリック → 「新規作成」 → 「フォルダー」
3. 名前を **AI作業** にする

これだけです。

以後、AIに任せる仕事は、**全部このフォルダの中でやります。**

ブログの下書きも、口コミの返信案も、数字のまとめも、ここに入ります。



ドキュメントの中に「AI作業」という名前のフォルダを1つ作ります。

AIに任せる仕事は、これから全部このフォルダの中でやります。

ここが、AIに触らせていい「事務所」です。

AI作業フォルダ

アプリに「この部屋を使って」と教える

アプリを開いて、作業する場所として、いま作った **AI作業** フォルダを選びます。

やり方は、アプリの版によって少しちがいますが、**どれか1つ見つければ大丈夫**です。

- 「フォルダを開く」
- 「プロジェクトを開く」
- 「作業フォルダ」
- フォルダのマーク () のボタン

どれかを押すと、パソコンの中を選ぶ画面が出ます。そこで

ドキュメント → AI作業 を選んで、「開く」または「選択」を押してください。

うまく選んでいるかは、次の「最初のひと言」で確かめられます。

ファイルがちゃんと **AI作業** の中にできていれば、正しく選んでいます。

これで準備完了です。おつかれさまでした。

いよいよ、最初のひと言

入力らんに、これをそのまま打ち込んで、送ってみてください。

こんにちは。私は治療院を経営しています。
このフォルダの中に、テスト.txt というファイルを作って、
中に「はじめまして」と書いてください。

数秒待つと、AIが「**作りました**」と返してきます。

そこで、**AI作業** フォルダを開いてみてください。

テスト.txt が、本当にできています。

これが、1冊目・2冊目でお伝えした違いです。

ChatGPT なら、「はじめまして」という文字を出して終わりでした。

Claude Code は、**ファイルを作って、名前をつけて、保存するところまでやりました。**

先生は、一度もマウスを触っていません。

練習：もう3つだけ、やってみましょう

せっかくなので、治療院の仕事で試してみます。

下の文を、そのままコピーして送ってください。

練習1 | ブログの下書きを作らせる

デスクワークで肩こりに悩む40代の女性に向けたブログを書いて、
「肩こりブログ.txt」という名前でこのフォルダに保存してください。
専門用語は使わず、やさしい言葉で、1000文字くらいをお願いします。

→ フォルダに **肩こりブログ.txt** ができます。

練習2 | 口コミの返信案を作らせる

患者さんから「腰痛が楽になりました。丁寧に説明してくれて安心できました」
という口コミをいただきました。
お礼の返信文を3パターン作って、「口コミ返信案.txt」に保存してください。
かしこまりすぎず、やわらかい言い方をお願いします。

練習3 | 直させる

さっきのブログが、少し固かったとします。そのまま、こう打ちます。

さっきの肩こりブログ、もう少しやわらかくして。
最後に予約の案内を1行足してください。

「さっきの」で通じます。 ファイル名を言い直す必要はありません。

やってはいけないこと（5つ）

安全に使うために、これだけ守ってください。

① AI作業 フォルダの外を触らせない

「パソコンの中を整理して」のような、**範囲の広いお願いはしない**でください。

作業は、必ず **AI作業** フォルダの中だけにします。

② 「消して」を軽く言わない

AIは、言われたとおりに消します。**ゴミ箱に入らず、そのまま消えることもあります。**

消すのは、先生が自分の手でやってください。

③ 患者さんの情報を、そのまま打ち込まない

氏名・住所・電話番号・カルテの中身は入れない。

「Aさん、50代女性、腰痛」に置きかえる。くわしくは **付録C** です。

④ 出てきたものを、確認せずに使わない

とくに **体の話・症状の話・効果の話**。

「治る」「必ず良くなる」などの表現が混ざっていないか、**必ず先生目で見てください。**

（資格ごとのルールは **付録D**）

⑤ よく分からないまま「はい」を押さない

作業の途中で「これをやっていいですか？」と聞かれることがあります。

内容を読んでから答えてください。 分からなければ「やめて」と打てば止まります。

うまくいかないときの、3つの確認

「返事が返ってこない」

→ インターネットにつながっているか確認してください。

「ファイルができていない」

→ アプリが見ている場所が、**AI作業** フォルダになっているか確認してください。

別の場所に作られていることがあります。

「変なことを言い出した／話が噛み合わない」

→ **新しい会話を始めてください**。これがいちばん効きます。

理由は次の4冊目でお話しします。

それでも直らなければ、**公式LINEでそのまま聞いてください**。画面の写真を送ってもらえれば見ます。

3冊目でできるようになったこと

- ☐ アカウントを作った
 - ☐ Proプランに入った
 - ☐ アプリを入れて、ログインした
 - ☐ **AI作業** フォルダを作って、アプリに教えた
 - ☐ 最初のひと言を打って、ファイルができるのを見た
 - ☐ やってはいけないこと5つを読んだ
-

明日の一步

2冊目の「明日の一步」で書いた、あの仕事をやらせてください。

覚えていますか。

「私がAIに、いちばん最初にやらせたい仕事は ○○ だ」

それを、そのまま日本語で打ち込むだけです。うまく言えなくて大丈夫です。

AIは、足りなければ聞き返してきます。

次は4冊目です

ここまでで、動くようにはなりました。

でも、いまのAIは **先生の院のことを、何も知りません。**

だから毎回、こう打つことになります。

「うちは新宿の整体院で、慢性痛が専門で、患者さんは40～60代が多くて……」

毎回これを打つのは、しんどいですよね。

次の4冊目では、これを一度書いておくだけで、

AIが自分の院のことを覚えてくれる仕組みを作ります。

ここからが、本番です。

つまずいたら、公式LINEでそのまま聞いてください。画面の写真を送っていただいてもかまいません。

院の「取扱説明書」を作る

4冊目で分かること

1. なぜ、**毎回おなじ説明をしなければいけない**のか
2. 院の情報を**一度書いておくだけで覚えさせる**方法
3. AIが**急に話を忘れる**ときの、たった1つの対処

読む時間：約12分

1. 新人スタッフを、想像してみてください

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

3冊目まで終えた先生は、いま、こういう状態です。

とても優秀な新人スタッフが、今日から院に来た。

でも、その人は、うちの院のことを何ひとつ知らない。

だから、こうなります。

先生：「ブログ書いといて」

AI：「どんな院ですか？ 誰に向けて書きますか？ どんな言葉づかいで？」

そこで先生は、こう打ちます。

「うちは新宿の整体院で、慢性痛が専門で、患者さんは40～60代が多くて、
ですます調で、専門用語は使わないで、最後に予約の案内を入れて……」

毎回これです。

新人スタッフなら、3日で覚えます。でもAIは、**次の日にはまた忘れています。**

2. 解決策は、「院の取扱説明書」を1枚置くこと

やることは、たった1つです。

AI作業 フォルダの中に、

「うちの院はこういう院です」と書いた紙を1枚、置いておく。

置いておくだけで、AIは**毎回それを先に読んでから**仕事を始めます。

新人スタッフに渡す**マニュアル**と同じです。

1回作れば、あとはずっと効きます。

この紙には決まった名前があります。 **CLAUDE.md**（クロード・エムディー）です。

メモ

「.md」は、ただの文字ファイルの種類です。おぼえなくていいです。

「AIが最初に読む紙」とだけ思ってください。

3. 作り方（AIに作らせます）

自分で書かなくていいです。**AIに作らせます。**

アプリに、これをそのまま打ち込んでください。

このフォルダに CLAUDE.md というファイルを作ってください。
これはあなたが毎回最初に読む、私の院の説明書です。

中身は私が答えるので、質問してください。
一度に全部ではなく、1つずつ聞いてください。

すると、AIが1つずつ質問してきます。答えていくだけで、説明書ができあがります。

5分で終わります。

4. 何を書いておくといいか（そのまま使える型）

質問に答えるとき、迷ったらこの項目を埋めてください。

全部埋めなくてもかまいません。 埋めた分だけ、精度が上がります。

① 院の基本

- 院の名前
- 場所（駅・エリア）
- **先生の資格**（柔道整復師／はり師・きゅう師／あん摩マッサージ指圧師／国家資格なし・整体）

→ **ここは必ず書いてください。** 資格によって、書いていい広告表現が変わります（付録D）

- 何が専門か（慢性痛／産後／スポーツ など）
- ひとり院か、スタッフがいるか

② 患者さんのこと

- 年齢層（例：40～60代）
- 男女どちらが多いか
- どんな悩みで来るか（例：腰痛・肩こり・寝ちがい）
- どんな仕事の人が多いか（例：デスクワーク、立ち仕事）

③ 料金・メニュー

- 初回いくら／2回目以降いくら
- 回数券があるか
- 施術時間

④ 言葉づかい（ここが一番効きます）

- ですます調／だ・である調
- やわらかめ／きっちりめ
- 専門用語は使う／使わない
- 患者さんの呼び方（「患者さま」「〇〇さん」など）

⑤ 書いてはいけないこと（これも必ず）

- 「治る」「治ります」「必ず良くなる」「完治」は使わない
- 効果を断言しない
- 「日本一」「地域No.1」など、根拠を出せない表現を使わない
- 他院の悪口を書かない
- （整体の場合）「診断」「治療」「医療」は使わない
- くわしくは **付録D**

⑥ よく使う決まり文句

- ブログの終わりに毎回入れる予約の案内
 - 公式LINEのURL
 - 院のキャッチコピー
-

5. 書き方のサンプル（写して使えます）

こんな感じになります。参考にしてください。

うちの院について

基本

- 院名：〇〇整体院
- 場所：新宿・四谷三丁目
- 専門：慢性の腰痛・肩こり
- ひとりでやっています

患者さん

- 40～60代が中心。女性がやや多い
- デスクワークの人が多い
- 「何年も痛みが続いている」という人がほとんど

料金

- 初回 6,600円（カウンセリング込み・60分）
- 2回目以降 5,500円（40分）

文章を書くときのルール

- ですます調。やわらかく、落ち着いた感じで
- 専門用語は使わない。使うときは必ずかっこ書きで説明する
- 患者さんのことは「患者さま」ではなく「〇〇さん」と書く
- あおらない。不安をあおる書き方は絶対にしない

絶対に書かないこと

- 「治る」「必ず良くなる」「完治」「必ず」「100%」
- 効果の断言
- 「日本一」「地域No.1」など、根拠のない一番表現
- 他院との比較・悪口

ブログの最後に必ず入れる文

「ご予約・ご相談は、公式LINEからお気軽にどうぞ。」

6. 効果を確認してみましょう

説明書ができたら、こう打ってみてください。

肩こりのブログを1本書いてください。

それだけです。

以前なら「誰に向けて？」と聞かれたところが、
今度はいきなり、先生の院らしい文章が出てきます。

- 40～60代のデスクワークの人に向いている
- ですます調で、やわらかい
- 専門用語がない
- 最後に公式LINEの案内が入っている

これが、説明書の力です。

7. 説明書は、育てていくものです

一度作って終わりではありません。

「ちょっと違うな」と思ったら、そのつど足していきます。

やり方は、これだけです。

いまの文章、少しかたいです。

「～ですね」みたいな、話しかける言い方を混ぜてください。

このルールを CLAUDE.md にも足しておいてください。

最後の1行がポイントです。「説明書にも足しておいて」と言うと、次から自動で守ってくれます。

直したいと思った瞬間が、育てるチャンスです。3か月も使えば、先生専用のスタッフになります。

8. AIが「急に忘れる」時の話

使っていると、こういうことが起きます。

- さっきまで分かっていたのに、話が噛み合わなくなる
- 前に言ったことを、無視し始める
- 動きが遅くなる

故障ではありません。 理由があります。

理由：AIには「一度に覚えていられる量」があります

AIは、**その会話で話したこと全部**を、常に読み直しながら答えています。

会話が長くなると、読み直す量がどんどん増えます。

そして、ある量を超えると、**古い話から押し出されていきます。**

机の上を想像してください。

最初は広い机です。書類を置くほど、置き場所がなくなる。

最後は、古い書類を床に落としながら作業することになります。

対処：新しい会話を始めるだけ

やることは1つです。

仕事が1つ終わったら、**新しい会話を始める。**

アプリの「新しい会話」ボタンを押すだけです。（黒い画面の場合は `/clear` と打ちます）

机の上を、いったん片づけるイメージです。

大事なこと

新しい会話にしても、**CLAUDE.md**（院の説明書）は消えません。

AIは、新しい会話でも必ずそれを読んでから始めます。

だから、**遠慮なくどんどん新しくしてください。** これが、いちばん多いつまずきの解決法です。

目安

こうなったら、新しくするサインです。

- 話が噛み合わなくなった
 - 1つの仕事が終わった（ブログを書き終えた、など）
 - まったく別の作業に移る（ブログ → 数字のまとめ）
-

9. 会話を分ける、もう1つの理由

「ブログの相談」をしていた会話の中で、いきなり「先月の売上を出して」と言うと、AIは**ブログの話を引きずったまま**数字を扱おうとします。

1つの会話=1つの仕事。

これだけで、出てくるものの質がはっきり上がります。
治療院でいえば、**施術中に電話対応をしない**のと同じです。

4冊目でできるようになったこと

- ☐ CLAUDE.md（院の説明書）を作った
 - ☐ 院の基本・患者さん・料金・言葉づかいを書いた
 - ☐ **書いてはいけない表現**を書いた
 - ☐ 説明書ありでブログを書かせて、違いを確かめた
 - ☐ 話が噛み合わなくなったら「新しい会話」にすると分かった
-

明日の一步

CLAUDE.md に、「書いてはいけないこと」だけでも書いてください。

全部埋めなくていいです。まず、この1つだけ。

CLAUDE.md に「絶対に書かないこと」を足してください。

- ・「治る」「必ず良くなる」「完治」「必ず」「100%」という言葉は使わない
- ・効果を断言しない
- ・「日本一」「地域No.1」など根拠のない表現を使わない
- ・不安をあおる書き方をしない
- ・私の資格は〇〇です（柔道整復師／はり師・きゅう師／整体）

これは、院を守るための1行です。

AIに文章を書かせるなら、いちばん先に入れておくべき設定です。

次は5冊目です

ここまでで、**先生の院を知っているAI**ができました。

次はいよいよ、**毎日の仕事をまとめて任せます**。

- ブログ
- 口コミの返信
- LINEの一斉配信
- インスタ
- 月末の数字

ここからが、いちばん効きます。

つまずいたら、公式LINEでそのまま聞いてください。

治療院の実作業をやらせる

5冊目で分かること

1. **ブログ・ロコミ・LINE・インスタ**を、実際に任せる
2. **月末の数字**を、5分で見える形にする
3. うまくいかないときの、**直し方のコツ**

読む時間：約15分

ここは、辞書のように使ってください。

はじめに

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

ここまでで、道具はそろいました。

ここからは、**実際の仕事を1つずつ任せていきます**。

上から順に読まなくてかまいません。

先生が今いちばんしんどい項目から開いてください。

打ち込む文は、そのままコピーして使えるように書いてあります。

（〇〇の部分だけ、自分の院に置きかえてください）

1. ブログ

いちばん基本の頼み方

肩こりについてのブログを1本書いて、
「ブログ_肩こり.txt」という名前で保存してください。
1500文字くらいをお願いします。

CLAUDE.md を作ってあるので、**誰に向けて・どんな言葉づかい**では、もう言わなくて大丈夫です。

ネタが思いつかないとき

先に、ネタだけ出してもらいます。

うちの院のブログのネタを20個出してください。
実際に患者さんが検索しそうな言葉で、タイトルの形にしてください。
「ネタ一覧.txt」に保存してください。

これを月に1回やっておくと、ネタ切れがなくなります。

症例をブログにする（いちばん効きます）

今日、こんな患者さんが来ました。ブログにしてください。

- ・ 50代 男性 デスクワーク
- ・ 3年くらい前から腰が重い
- ・ 整形外科では「異常なし」と言われた
- ・ 3回目で「朝起きるのが楽になった」と言ってくれた

患者さんが特定されないように、細かい情報は変えてください。

効果を断言する書き方はしないでください。

これがいちばん読めます。ただし、書き方のルールがあります（→ 付録D）。

「起きた事実」は書けますが、「これから来る人への約束」は書けません。

一般論のブログより、実際の話のほうが、患者さんは自分と重ねて読みます。

書き上がったら、必ずこれをやってください

いま書いたブログを、広告のルールの観点でチェックしてください。

私の院は〇〇（接骨院／鍼灸院／整体院）です。

- ・ 接骨院なら柔道整復師法24条、鍼灸院ならあはき法7条の広告制限
- ・ 景品表示法（大げさな表現・体験談の使い方）
- ・ 医師法17条（診断・治療と誤解される表現）

危ない表現があれば、どこがどう危ないか教えて、直した文も出してください。

AIに書かせて、AIにチェックさせる。そのうえで、最後は先生目で確認します。

2. 口コミへの返信

基本

こういう口コミをいただきました。返信文を3パターン作ってください。

「腰痛が楽になりました。丁寧に説明してくれて安心できました」

低い評価がついたとき（ここが本番）

星2つの口コミがつけました。返信文を考えてください。

「予約の時間に行ったのに10分待たされた。説明も早口で分かりにくかった」

言い訳をせず、まず謝る。

でも、こちらが全面的に悪いという書き方にはしない。

これを読んだ他の人が「誠実な院だ」と思う内容にしてください。

3パターンお願いします。

⚠️ 口コミを「集める」ときは、集め方に決まりがあります。

割引と引き換えに書いてもらう／文面をこちらで用意するのは、ステマ規制に引っかかります。

先に 付録D を読んでください。

低評価の返信は、書いた人ではなく「それを読む次の患者さん」に向けて書きます。

ここを冷静に書けるかどうかで、新患の数が変わります。

カッとなった状態で自分で書くより、AIに一度出させたほうが、絶対にいいです。

3. 公式LINEの一斉配信

公式LINEの一斉配信の文を3パターン作ってください。

- ・伝えたいこと：9月は予約に空きがあります
- ・押しつけがましくしない
- ・「予約してください」と直接言わない
- ・300文字以内
- ・最後に一言、季節の話を入れる

配信のネタが尽きたとき

治療院の公式LINEで送る内容を、12か月ぶん考えてください。

売り込みは3回まで。あとは役に立つ話にしてください。

「LINE年間ネタ.txt」に保存してください。

4. インスタ・ショート動画

インスタの投稿文を書いてください。

- ・ 内容：寝る前にできる腰のストレッチ
- ・ 最初の1行で止まるようにする
- ・ ハッシュタグを15個つける
- ・ そのうち5個は「新宿 整体」のような地域の言葉にする

動画の台本

30秒のショート動画の台本を作ってください。

- ・ テーマ：「その腰痛、実は〇〇が原因かも」
 - ・ 最初の3秒で引きつける
 - ・ 話し言葉で書く
 - ・ 最後に「保存しておいてください」で終わる
-

5. 月末の数字（ここがいちばん大きい）

これは、**文章のAIにはできない仕事**です。

先生のパソコンの中のファイルを、開いて読む必要があるからです。

やり方

1. 予約システムや会計ソフトから、データをCSVやExcelで書き出す
2. そのファイルを **AI作業** フォルダに入れる
3. こう打つ

このフォルダの「8月予約データ.csv」を見て、次を出してください。

- ・ 今月の来院数
- ・ そのうち新患は何人か
- ・ リピート率（2回目以降に来た人の割合）
- ・ 先月と比べてどうか

表にして「8月まとめ.txt」に保存してください。

そのあと、これを聞いてください

この数字を見て、来月やるべきことを3つ挙げてください。
ひとり院で、お金をかけずにできることに絞ってください。

数字を出すだけでは、何も変わりません。

「で、何をするか」まで出させて、はじめて意味があります。

ここが月1時間から5分になるところです。しかも、見なかった月がなくなります。

6. 院の中の書類

3年放置しているもの、ありませんか。

問診票

初診の問診票を作ってください。
慢性の腰痛・肩こりの方が多い整体院です。
A4一枚に収まる分量で、答えやすい順番にしてください。

回数券の説明

回数券の説明文を作ってください。
押し売りに聞こえない言い方で。
「なぜ複数回必要なのか」を、患者さんが納得できるように説明してください。
断ってもいい雰囲気を残してください。

施術後のアドバイス用紙

施術後に患者さんにお渡しする「おうちでのケア」の紙を作ってください。
腰痛の方向け。イラストなしで、文字だけで分かるように。
やりすぎないように、注意書きも入れてください。

7. うまくいかないときの、直し方

● 思ったのと違うものが出てきた

やり直させれば済みます。タダです。

方向性が違います。もっと〇〇にしてください。

一発で当てようとしないでください。2〜3回のやりとりで仕上げるのが普通の使い方です。

● 文章がAIっぽい・薄っぺらい

たいてい、先生の中にある情報を渡していないのが原因です。

もっと具体的にしてください。

実際に患者さんから言われた言葉を入れます。

「朝、靴下をはくのがつらい」——これを使ってください。

AIは、先生が知っていることを知りません。

診察室で聞いた生の言葉を渡すと、急に生きた文章になります。

● 毎回おなじ直しをしている

それは、説明書（`CLAUDE.md`）に書くべきことです。

この直し方を、`CLAUDE.md` にルールとして足しておいてください。

同じ指摘を3回したら、説明書に書く。これを習慣にしてください。

● 長い作業の途中で、話が噛み合わなくなった

4冊目でお伝えしたとおりです。新しい会話を始めてください。

8. AIの「種類」を選ぶ話（軽く読んでください）

Claude Code には、**頭の使い方が違うAI**が何種類か入っていて、切りかえられます。

ただし、**先生は、はじめから入っている設定のままで大丈夫です。**

覚えておくといのは、これだけです。

うまくいかないときは、AIの種類より、
お願いの言葉が足りていないことのほうが、はるかに多い。

設定をいじるより、「**誰に・どんな言い方で・どのくらいの長さで**」を足してください。
そのほうが、確実に良くなります。

9. 「使わなくなる」いちばんの原因

正直にお話しします。

Claude Code をやめてしまう先生には、共通点があります。

「**時間があるときにやろう**」と思っている。

時間は、できません。ずっとできません。

続く先生は、**曜日を決めています。**

- 火曜の朝 → ブログを1本
- 金曜の夜 → 来週のインスタ3本
- 月末の午前 → 数字のまとめ

30分だけです。 それも、AIが8割やります。

この「決まった型」を、次の6冊目で**ひと言で動くように**します。

5冊目でできるようになったこと

- ☐ ブログを1本、AIに書かせた
 -
 - ☐ 口コミの返信案を作らせた
 -
 - ☐ LINEかインスタの文を作らせた
 -
 - ☐ 数字のまとめをやらせた（データがある場合）
 -
 - ☐ 「思ったのと違う」ときの直し方が分かった
 -
 - ☐ 同じ指摘を3回したら説明書に書く、と決めた
-

明日の一步

いちばん後回しにしているものを、1つだけ片づけてください。

問診票でも、回数券の説明でも、放置しているブログでも構いません。
ここから文をコピーして、打ち込むだけです。

「3年やれなかったことが、20分で終わる」——
これを一度体験すると、道具ではなく戦力に変わります。

次は6冊目（最終回）です

ここまでは、**その都度お願いする**やり方でした。

最後の6冊目では、
「**いつものやつ、やっというて**」で**全部終わる**ところまで持っていきます。

先生専用のAI秘書の、仕上げです。

一度、お伝えしておきます

ここまで読んで、実際に手を動かしている先生は、**かなり少数派**です。

同じように、ひとりで院をやりながら仕組みを作っている先生と、
30分だけ話す時間をとっています。

売り込みではなくて、「**先生の院で、どこからAIを入れると一番ラクになるか**」を一緒に決めるだけです。
その場で紙に書き出して終わる先生もいます。それで構いません。

▶ 空いている日程はこちら

<https://chiryoin-ai-manual.pages.dev/booking/>

LINEログインだけで予約できます。お名前の入力も不要です。

つまずいたら、公式LINEでそのまま聞いてください。

「やっというて」で動く仕組みにする

6冊目で分かること

- 1. 毎回おなじ説明をせずに、**ひと言で動かす方法**
- 2. 院の**決まり仕事**を、AIに覚えさせる
- 3. ここから先、**何をしていけばいいのか**

読む時間：約12分

1. ここまでの復習

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。最終回です。

ここまでで、先生はこうなりました。

冊	手に入れたもの
1・2冊目	AIが何者か分かった
3冊目	パソコンで動くようになった
4冊目	AIが 院のことを覚えた
5冊目	実際の仕事を任せられるようになった

もう十分すごいです。ここで**止めても、月に何時間も浮きます。**

最後の1冊は、「**毎週やること**」を軽くする話です。

2. まだ残っている、めんどくささ

5冊目で、ブログを書かせましたね。そのとき、こう打ちました。

肩こりについてのブログを1本書いて、

「ブログ_肩こり.txt」という名前で保存してください。

1500文字くらいをお願いします。

そのあと、広告のルール（柔整法24条／あはき法7条・景表法・医師法17条）の観点でチェックしてください。

これを、**毎週打っています**。

テーマが変わるだけで、あとは全部おなじです。

この「おなじ部分」を、名前をつけて登録できます。

3. 決まり仕事に、名前をつける

やり方は、拍子抜けするほど簡単です。AIに頼むだけです。

「ブログ」という決まり仕事を作ってください。

私が「ブログ ○○」と打ったら、○○をテーマにして
次のことを順番にやってください。

1. うちの患者さんに合う切り口で、1500文字のブログを書く
2. 「ブログ_（テーマ）.txt」という名前で保存する
3. 広告のルール（柔整法24条／あはき法7条・景表法・医師法17条）でチェックし、危ない表現があれば教える
4. 最後にタイトル案を3つ出す

これを、いつでも呼び出せるように登録してください。

これで登録されます。

次からは、**これだけ**です。

ブログ 五十肩

たった6文字で、さっきの4つの作業が全部動きます。

メモ

正式には「スラッシュコマンド」「スキル」と呼ばれます。

名前はおぼえなくていいです。「決まり仕事に名前をつけた」とだけ思ってください。

4. 治療院で、作っておくといい決まり仕事（5つ）

そのままコピーして、AIに打ち込んでください。

（1つずつ、順番に登録してください）

① 口コミ返信

「口コミ」という決まり仕事を作ってください。

私が口コミの文を貼ったら、

- ・返信文を3パターン（低評価なら、まず謝る形で）
- ・どれがいいかのおすすめを1つ

これを出してください。

② 今週のインスタ

「インスタ」という決まり仕事を作ってください。

実行したら、

- ・今週の投稿ネタを3つ
- ・それぞれの投稿文とハッシュタグ15個
- ・「インスタ_（日付）.txt」に保存

これをやってください。

③ 月末チェック

「月末」という決まり仕事を作ってください。

実行したら、

- ・フォルダにある予約データを読む
- ・来院数、新患数、リピート率を出す
- ・先月と比べる
- ・来月やることを3つ提案する
- ・「月次_（年月）.txt」に保存

これをやってください。

④ 患者さん向けの文章チェック

「チェック」という決まり仕事を作ってください。

私が文章を貼ったら、

- ・「治る」「必ず」など、断言している表現を指摘
- ・不安をあおる表現を指摘
- ・直した文を出す

これをやってください。

⑤ 症例ブログ

「症例」という決まり仕事を作ってください。

私が患者さんの様子を箇条書きで渡したら、

- ・特定されないように情報をぼかす
- ・効果を断言せずにブログにする
- ・「症例_（日付）.txt」に保存

これをやってください。

この5つがあれば、院の発信はほぼまわります。

5. 曜日を決める（ここが本当の仕上げ）

道具がそろっても、**やる日が決まっていなければ止まります。**
5冊目でお伝えしたとおりです。

おすすめの型を置いておきます。**合計30分**です。

いつ	打つ言葉	かかる時間
火曜の朝	ブログ ○○	10分（手直し込み）
金曜の夜	インスタ	10分
月末の朝	月末	10分
気づいたとき	口コミ	2分

合わせて、週に30分ほどの型です。

大事なのは短さではなく、**曜日が決まっていること**です。
決まっていない仕事は、忙しい週に必ず飛びます。そして戻ってきません。

浮いた時間を何に使うかは、先生が決めてください。
患者さんを診てもいい。勉強してもいい。早く帰ってもいい。

6. さらに先へ：紙のマニュアルもAIに

余力が出てきたら、こんなことにも使えます。

スタッフを入れるときのマニュアル

受付スタッフ向けのマニュアルを作ってください。
電話の受け方、予約の取り方、初診の方への案内。
はじめての人が読んで分かるように、順番に書いてください。

自分の頭の中を整理する相手として

いま、新患が月8人で止まっています。
何が原因か、質問しながら一緒に整理してください。
答えを先に言わないでください。

AIは、壁打ちの相手としても優秀です。

ひとり院でいちばんしんどいのは、相談相手がいないことだと思います。

夜中の2時でも、AIは付き合ってくれます。

7. 最後にお伝えしたいこと

長いハンドブックを、ここまで読んでいただいてありがとうございました。

最後に、道具の話ではなく、**考え方**の話を少しだけさせてください。

AIを入れても、腕は上がりません

当たり前ですが、AIは施術をしません。

技術を磨くのは、これからもずっと先生の仕事です。そこは変わりません。

では、何が変わったのか

技術を磨く時間ができたことです。

ブログにかけていた夜の時間が、短くなる。

その浮いたぶんを、何に使うか。

- 症例を振り返る
- 勉強会に出る
- 早く帰って、家族と過ごす

そのどれもが、正解です。

治療院という仕事は、時間の使い方の勝負です

腕のいい先生は、たくさんいます。

その中で選ばれ、続けられる院とそうでない院の差は、

技術ではなく、「**施術以外の時間を、どう使ったか**」で決まっていきます。

- 発信が続けられた院と、止まった院
- 数字を見ていた院と、見ていなかった院
- 考える時間があつた院と、なかった院

AIは、そこを埋める道具です。それ以上でも、それ以下でもありません。

腕はそのまま。**変えるのは、時間の使い方**だけです。

このハンドブックでできるようになったこと（全体）

- ☐ AIが何者か、人に説明できる
 -
 - ☐ Claude Code を自分のパソコンで動かせる
 -
 - ☐ 院の説明書（`CLAUDE.md`）を作った
 -
 - ☐ ブログ・ロコミ・LINE・インスタをAIに任せられる
 -
 - ☐ 月末の数字を5分で見られる
 -
 - ☐ 決まり仕事に名前をつけて、ひと言で動かせる
 -
 - ☐ やる曜日を決めた
-

明日の一步（最後の一步です）

決まり仕事を1つだけ登録して、曜日を決めてください。

おすすめは「**ブログ**」です。いちばん効きます。

そして、スマホのカレンダーに、毎週くり返しの予定を入れてください。

火曜 8:00 「ブログ（10分）」

カレンダーに入っていないことは、続きません。

これは、AIとは関係のない話です。でも、いちばん大事な一步です。

ここから先について

このハンドブックは、ここまでです。

ただ、実際にやってみると、必ずこういうところで止まります。

- 「うちの院だと、何から任せるのが正解なんだろう」
- 「発信は始めたけど、これで新患が増えるのか分からない」
- 「そもそも、いまの院の状態が良いのか悪いのか判断できない」

ここは、ハンドブックでは埋められません。 院ごとに答えが違うからです。

私は、同じようにひとりで院をやっている先生と、
30分だけ話す時間をとっています。

この30分で何をするかという、売り込みではなくて、
「先生の院で、どこからAIを入れると一番ラクになるか」を一緒に決めるだけです。

その場で紙に書き出して終わる先生もいます。それで構いません。

ただ、一人で考えていると、だいたい
「全部やらなきゃ」で止まってしまうんです。私がそうでした。

▶ 空いている日程はこちら

<https://chiryoin-ai-manual.pages.dev/booking/>

LINEログインだけで予約できます。お名前の入力も不要です。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

先生の院が、これから先も長く続いていくことを願っています。

治療院ネクスト 加藤 賢

つまずいたら、いつでも公式LINEでそのまま聞いてください。

そのままコピーして使える 「お願い文」30本

使い方

- **上から順に読む必要はありません。** 必要なものだけ使ってください。
 - **〇〇** の部分だけ、自分の院に置きかえてください。
 - そのままコピーして、AIに打ち込むだけです。
 - **4冊目の「院の説明書（CLAUDE.md）」を先に作っておくと、精度が段ちがいに上がります。**
-

■ ブログ（1～6）

1 | ブログを1本書かせる

〇〇（例：肩こり）についてのブログを1本書いて、
「ブログ_〇〇.txt」という名前で保存してください。
1500文字くらいをお願いします。

2 | ネタを20個ストックする

うちの院のブログのネタを20個出してください。
実際に患者さんが検索しそうな言葉で、タイトルの形にしてください。
「ネタ一覧.txt」に保存してください。

3 | 症例をブログにする（いちばん読まれます）

今日こんな患者さんが来ました。ブログにしてください。

- ・ 〇〇代 〇性 〇〇（仕事）
- ・ 〇〇（いつから、どんな症状か）
- ・ 〇〇（他でどう言われたか）
- ・ 〇〇（何回目で、どう変わったか）

患者さんが特定されないように、細かい情報は変えてください。
効果を断言する書き方はしないでください。

4 | 患者さんの「よくある質問」から書く

初診の患者さんからよく聞かれる質問を10個挙げて、
それぞれをブログ1本ぶんの構成にしてください。

5 | 古いブログを書き直す

このブログを貼ります。読みやすく書き直してください。

- ・一文を短く
- ・むずかしい言葉を減らす
- ・最初の3行で「自分のことだ」と思わせる

(ここにブログを貼る)

6 | 書いたあとの安全チェック（毎回やってください）

いま書いたブログを、広告のルールの観点でチェックしてください。

私の院は〇〇（接骨院／鍼灸院／整体院）です。

- ・接骨院なら柔道整復師法24条、鍼灸院ならあはき法7条の広告制限
- ・景品表示法（大げさな表現・体験談の使い方）
- ・医師法17条（診断・治療と誤解される表現）

危ない表現があれば、どこがどう危ないか教えて、直した文も出してください。

■ 口コミ（7～10）

7 | よい口コミへの返信

こういう口コミをいただきました。返信文を3パターン作ってください。
かしこまりすぎず、やわらかい言い方で。

（ここに口コミを貼る）

8 | 低い評価への返信（冷静に書くために）

星〇つの口コミがつけました。返信文を考えてください。

（ここに口コミを貼る）

- ・言い訳をせず、まず謝る
 - ・こちらが全面的に悪い、という書き方にはしない
 - ・これを読んだ他の人が「誠実な院だ」と思う内容にする
- 3パターンお願いします。

9 | 口コミをお願いする声かけを作る

⚠ その前に付録Dを読んでください。割引と引き換えに書いてもらう、文面をこちらで渡す——

これは **ステマ規制**（2023年10月～）に引っかかります。声をかけるだけならOKです。

施術後に、患者さんへ口コミをお願いする声のかけ方を5パターン考えてください。
押しつけがましくならないように。
断りやすい余地を残してください。

10 | 口コミを分析する

うちの口コミを貼ります。

- ・褒められている点
- ・気になっている点
- ・そこから読み取れる、うちの強みを整理してください。

(ここに口コミをまとめて貼る)

■ 公式LINE（11～14）

11 | 一斉配信の文

公式LINEの一斉配信の文を3パターン作ってください。

- ・伝えたいこと：〇〇
- ・押しつけがましくしない
- ・「予約してください」と直接言わない
- ・300文字以内
- ・最後に一言、季節の話を入れる

12 | 1年ぶんのネタを決める

治療院の公式LINEで送る内容を、12か月ぶん考えてください。

売り込みは3回まで。あとは役に立つ話にしてください。

「LINE年間ネタ.txt」に保存してください。

13 | 来なくなった患者さんへの声かけ

3か月来られていない患者さんへ送るメッセージを作ってください。

- ・営業っぽくしない
- ・「気にかけていました」が伝わる
- ・返信しなくても気まずくない

3パターンお願いします。

14 | 登録直後に届くあいさつ文

公式LINEに登録してくれた方へ、最初に届くあいさつ文を作ってください。

- ・何をしてくれるアカウントか分かる
 - ・予約の方法が分かる
 - ・売り込みの匂いをさせない
-

■ インスタ・ショート動画（15～19）

15 | 投稿文+ハッシュタグ

インスタの投稿文を書いてください。

- ・ 内容：〇〇
- ・ 最初の1行で止まるようにする
- ・ ハッシュタグを15個つける
- ・ そのうち5個は「〇〇（地域名） 整体」のような地域の言葉にする

16 | ショート動画の台本

30秒のショート動画の台本を作ってください。

- ・ テーマ：〇〇
- ・ 最初の3秒で引きつける
- ・ 話し言葉で書く
- ・ 最後に「保存しておいてください」で終わる

17 | 1か月ぶんの投稿計画

インスタの投稿を1か月ぶん（12投稿）計画してください。

- ・ お役立ち 6本
- ・ 症例 3本
- ・ 院や私の人となり 2本
- ・ 案内 1本

表にして「インスタ計画.txt」に保存してください。

18 | プロフィール文を作る

インスタのプロフィール文を作ってください。

150文字以内で、

- ・ 誰のための院か
- ・ 何が他と違うのか
- ・ どうすれば予約できるか

がひと目で分かるようにしてください。3案お願いします。

19 | サムネの文字を考える

この内容のショート動画のサムネに入れる文字を10案出してください。

- ・ 13文字以内
- ・ 言い切る
- ・ あおらない

内容：〇〇

■ 院の中の書類（20～23）

20 | 問診票

初診の問診票を作ってください。

〇〇（例：慢性の腰痛・肩こり）の方が多い治療院です。

A4一枚に収まる分量で、答えやすい順番にしてください。

21 | 回数券の説明

回数券の説明文を作ってください。

押し売りに聞こえない言い方で。

「なぜ複数回必要なのか」を、患者さんが納得できるように説明してください。

断ってもいい雰囲気を残してください。

22 | おうちでのケアの紙

施術後に患者さんへお渡しする「おうちでのケア」の紙を作ってください。

〇〇（例：腰痛）の方向け。文字だけで分かるように。

やりすぎないように、注意書きも入れてください。

23 | 料金表の書き方

料金表の文章を作ってください。

高いと思われないように、

- ・何にお金を払っているのか
- ・1回で終わらない理由

が伝わるようにしてください。あおらないでください。

■ 数字・経営（24～27）

24 | 月末のまとめ

このフォルダの「〇〇月予約データ.csv」を見て、次を出してください。

- ・ 今月の来院数
- ・ そのうち新患は何人か
- ・ リピート率（2回目以降に来た人の割合）
- ・ 先月と比べてどうか

表にして「〇〇月まとめ.txt」に保存してください。

25 | 数字から打ち手を出させる

この数字を見て、来月やるべきことを3つ挙げてください。

ひとり院で、お金をかけずにできることに絞ってください。

26 | 離脱している患者さんを見つける

予約データを見て、

- ・ 2回目に来ていない人が何割か
- ・ 何回目で来なくなる人が多いか

を出してください。そこから考えられる原因も教えてください。

27 | 来年の目標を決める

いまの数字を渡します。来年の目標を一緒に決めてください。

無理のない数字で、根拠も示してください。

質問しながら進めてください。

（ここに数字を貼る）

■ 困ったとき・壁打ち（28～30）

28 | 出てきた文章が薄いとき

もっと具体的にしてください。
実際に患者さんから言われた言葉を入れます。
「〇〇」——これを使ってください。

29 | 同じ直しを何度もしているとき

この直し方を、CLAUDE.md にルールとして足しておいてください。
次からは、最初からこの形で書いてください。

30 | ひとりで悩んでいることを整理する

いま、〇〇（例：新患が月8人で止まっている）で悩んでいます。
何が原因か、質問しながら一緒に整理してください。
答えを先に言わないでください。1つずつ聞いてください。

最後に

この30本は、あくまで型です。

いちばん効くのは、先生の院に合わせて書き直したものです。

そして、書き直したものは `CLAUDE.md`（4冊目）に残してってください。

同じお願いを3回したら、決まり仕事にする（6冊目）。

同じ直しを3回したら、説明書に書く（4冊目）。

これだけ守れば、使うほど楽になっていきます。

「うちの院用に、この30本を作り直したい」という方へ。

実際にお話ししながら、先生の院に合わせた形に整理することもできます。

30分だけ話す時間をとっています。売り込みはしません。

▶ 空いている日程はこちら

<https://chiryoin-ai-manual.pages.dev/booking/>

LINEログインだけで予約できます。お名前の入力も不要です。

カタカナ語ミニ辞典

分からない言葉が出てきたら、ここを見てください。
おぼえる必要はありません。「そういうものか」で十分です。

■ まず、この5つだけ

言葉	治療院にと考えると	意味
AI	大量の本を読んだ物知り	人の答え方がうまくなった道具
Claude Code	院に来て働くスタッフ	パソコンの中に入って作業までするAI
プロンプト	指示の出し方	AIへのお願い文のこと
CLAUDE.md	院のマニュアル	AIが毎回最初に読む、院の説明書
セッション	1回の打ち合わせ	AIとのひとつながりの会話

この5つが分かれば、ハンドブックは全部読めます。

■ AIまわりの言葉

AI（エーアイ）

人工知能。このハンドブックでは「大量の文章を読んで、人がどう答えるかがうまくなった道具」という意味で使っています。

ChatGPT（チャットジーピーティー）

いちばん有名な文章のAI。無料で試せます。

Claude（クロード）

ChatGPTと同じ仲間の文章のAI。文章がやわらかいのが特徴です。

Claude Code（クロードコード）

Claudeを、**パソコンの中で働けるようにしたもの**。このハンドブックの主役です。

Gemini（ジェミニ）

Googleが作っている文章のAI。

プロンプト

AIへの**お願い文**のこと。「プロンプトを工夫する」＝「お願いの仕方を工夫する」。

モデル

AIの種類のこと。頭の使い方が違うものが何種類かあります。

先生は、はじめの設定のままで大丈夫です。

ハルシネーション

AIが**それっぽいうそを堂々と書くこと**。「幻覚」という意味です。

だから最後は必ず人が確認します。

■ パソコンまわりの言葉

フォルダ

書類を入れる引き出し。このハンドブックでは **AI作業** という引き出しを1つ作りました。

ファイル

書類そのもの。 **ブログ_肩こり.txt** などがファイルです。

.txt（テキスト）

文字だけの、いちばんシンプルなファイル。メモ帳で開けます。

.md（マークダウン）

これも文字だけのファイル。見出しなどを付けやすくしたもの。

.txt の親戚だと思ってください。

.csv（シーエスブイ）

表のデータをファイルにしたもの。予約システムから書き出すと、たいていこの形です。

Excelで開けます。

ダウンロード

インターネットから、自分のパソコンにファイルを取り込むこと。

インストール

アプリをパソコンに入れて、使えるようにすること。

アカウント

サービスを使うための、自分専用の入り口。メールアドレスとパスワードで入ります。

ログイン

自分のアカウントに入ること。

■ Claude Code を使うときの言葉

デスクトップアプリ

パソコンにアイコンとして入る、ふつうのアプリのこと。

LINEやZoomと同じ形です。このハンドブックではこちらを使います。

ターミナル／コマンドプロンプト／PowerShell

いわゆる黒い画面。文字だけでパソコンを操作するところ。

このハンドブックでは使いません。

セッション

AIとのひとつながりの会話。

長くなると話が噛み合わなくなるので、区切ります（4冊目）。

コンテキスト

AIがいま覚えていられる分量。机の広さのようなもの。

会話が長いと、古い話から押し出されます。

スラッシュコマンド／スキル

決まり仕事に名前をつけたもの（6冊目）。

プログ 五十肩 のように、ひと言で呼び出せます。

プラン（Pro / Max）

契約の種類。

- **Pro**：月20ドル（約3,000円）。先生はこれで十分です。
 - **Max**：月100ドル～。一日中AIを動かす人向け。要りません。
-

■ 集客まわりで出てくる言葉

サムネ（サムネイル）

動画の表紙になる画像。ここに入れる文字で、見られるかどうかが決まります。

ハッシュタグ

インスタなどで付ける **#新宿整体** のような目印。

リール／ショート

インスタやYouTubeの、**短いタテ型の動画**のこと。

MEO / Googleマップ対策

Googleマップで上に出るようにすること。治療院の集客では、いちばん効きます。

LP（ランディングページ）

予約や申し込みだけを目的にした、1枚のホームページ。

CTA

「予約はこちら」のような、**次の行動をうながす一言**のこと。

■ 法律まわりの言葉（付録Dに出てきます）

柔道整復師法 第24条（じゅうどうせいふくしほう）

接骨院・整骨院の広告のルール。書いていいことが決められている（限定列举）のが特徴です。

あはき法 第7条

正式には「あん摩マツサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律」。

鍼灸院・マッサージ院の広告のルール。柔整法24条と同じく限定列举です。

医師法 第17条

医療行為（診断・治療）は医師にしかできない、という決まり。

整体・カイロなど国家資格のない施術所が「診断します」「治療します」と書くと危ないのは、これが理由です。

景品表示法（けいひんひょうじほう／景表法）

うそや大げさな表示を禁止する法律。全員にかかります。

「必ず治ります」「地域No.1」など、根拠を出せない表現がここに引っかかります。

薬機法（やっきほう）

医薬品・医療機器・化粧品についての法律。

サプリや健康器具を売るときに関係します。施術そのものの広告は、上の法律のほうです。

※ ここを取りちがえている情報がとても多いので、注意してください。

ステマ規制（ステルスマーケティング規制）

広告なのに、広告だと分からない表示を禁止するルール。2023年10月から景表法で規制されています。

□コミを 割引と引き換えに 書いてもらったり、**文面をこちらで用意**したりすると、これに引っかかります。

あはき法 第12条

国家資格がない人が、あん摩・マッサージ・指圧をしてはいけないという決まり。

無資格の施術所が「マッサージ」という言葉を使うと、これに触れると見なされることがあります。

療養費（りょうようひ）

柔道整復で健康保険が使えるお金のこと。骨折・脱臼・打撲・捻挫が対象で、

慢性的な肩こり・腰痛には使えません。「保険が使えます」とだけ書くのは危険です。

限定列举（げんていれっきょ）

「書いていいこと」がリストで決められていて、**それ以外は原則書けない**という決め方。

柔整法24条・あはき法7条が、この方式です。

優良誤認（ゆうりょうごにん）

実際よりずっと良く見せてしまうこと。景表法で禁止されています。

よく略される言葉

略語	正式	意味
CV	コンバージョン	予約や申し込みにつながること
PV	ページビュー	ホームページが見られた回数
DM	ダイレクトメッセージ	SNS上の個別メッセージ
KPI	—	追いかける数字（新患者、リピート率など）

分からない言葉が出てきたら

この辞典に無い言葉が出てきたら、AIに聞くのがいちばん早いです。

そのままこう打ってください。

「〇〇」という言葉の意味を、
パソコンにくわしくない人にも分かるように、
治療院のたとえで説明してください。

AIは、何度聞いても嫌な顔をしません。

分からないまま進めるのが、いちばんもったいないです。

患者さんの情報とAI

AIに入れていいもの・ダメなもの

※ 使い始める前に、必ず読んでください

なぜ、これが一番大事なのか

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

便利な話をたくさんしてきましたが、**ここだけは、便利さより先に来ます。**

治療院は、患者さんの体のこと・住所・連絡先など、
とても大事な情報を預かる仕事です。

これを、うっかりAIに流してしまうと、取り返しがつきません。

こわがらせたいのではありません。

線引きさえ守れば、まったく問題なく使えます。 その線を、ここでははっきりさせます。

まず、いちばん大事な1行

AIに打ち込んだ文章は、先生のパソコンの外に出ていきます。

Claude Code は「パソコンの中で働く」と説明しましたが、
考えているのは、インターネットの向こう側です。

打ち込んだ文章は、そこに送られています。

だから、こう考えてください。

「この文章、知らない業者さんにメールで送っても平気か？」

平気ならOK。ためらうならNG。これだけです。

入れてはいけないもの（レッドライン）

この6つは、絶対に打ち込まないでください。

X	入れてはいけないもの
1	患者さんの 氏名 （フルネーム・苗字だけでも含む）
2	住所
3	電話番号・メールアドレス・LINE ID
4	生年月日
5	保険証の情報・マイナンバー
6	カルテそのもの （ファイルごと渡すのもNG）

さらに、**組み合わせると誰か分かってしまうもの**も同じ扱いです。

- 「〇〇小学校のPTA会長をされている50代の男性」
- 「駅前の〇〇薬局にお勤めの方」
- 「近所で〇〇というお店をやっている女性」

名前を書かなくても、特定できるなら同じことです。

これはブログに書くときも、まったく同じ注意が必要です。

入れているもの（グリーンライン）

一方で、これは問題ありません。

○	入れているもの
1	年代（50代、など。「52歳」ではなく）
2	性別
3	症状（腰痛、肩こり、しびれ など）
4	職業のざっくりした種類（デスクワーク、立ち仕事）
5	経過（3回目で楽になった、など）
6	院の情報（料金・メニュー・営業時間）

実際の直し方（ここを覚えてください）

やり方はかんたんです。A様・B様に置きかえるだけです。

X そのままの例

田中花子さん（52歳・新宿区〇〇在住・090-XXXX-XXXX）は、
3年前から腰痛。〇〇小学校の教員。

〇 置きかえた例

Aさん、50代女性、デスクワーク中心の仕事。
3年前から続く腰痛。

これで、AIには十分伝わります。

ブログを書くのに、名前も住所も電話番号も要りません。

数字のデータを渡すときの注意

5冊目で「予約データを渡して数字を出させる」とお伝えしました。

ここがいちばん危ないポイントです。

予約システムから書き出したファイルには、**たいてい氏名と電話番号が入っています。**

そのまま渡してはいけません。

やり方（3ステップ）

- 1. データを Excel で開く
- 2. 氏名・電話番号・住所・メールアドレスの列を、まるごと削除する
- 3. 別名で保存して、そのファイルだけを AI作業 フォルダに入れる

残すのは、この4つで十分です。

残す列	例
来院日	2026/8/3
初診 / 再診	初診
メニュー	60分コース
金額	6,600

名前がなくても、来院数もリピート率も全部出せます。

面倒に感じるかもしれませんが、最初の1回だけです。

一度やり方が決まれば、次からは同じ手順をなぞるだけです。

院のルールにしておくと安心なこと（そのまま使えます）

CLAUDE.md（4冊目）に、これを書いておいてください。

AIの側にも、線引きを持たせておく形です。

患者さんの情報について（絶対のルール）

- 患者さんの氏名・住所・電話番号・生年月日は、私が誤って入力しても、文章に使わないでください。
- 気づいたら「個人情報が含まれています」と教えてください。
- 症例をブログにするときは、必ず「Aさん・50代・女性」の形にぼかしてください。
- 特定につながる情報（勤務先・学校・店名・地名の細かい部分）はぼかすか、削ってください。

これを書いておくと、うっかりを1回止められます。

もちろん、これに頼りきらず、入れないのが基本です。

ブログに症例を書くときは、もう一つ別のルールがあります

ここまでは「AIに何を入れていいか」の話でした。

症例を **ブログとして外に出す** ときは、**まったく別のルール（広告のルール）** がかかります。

個人情報の話とは、根拠になる法律も、気をつける中身も違います。

付録D「広告のルールとAI」にまとめました。症例ブログを書く前に、そちらを読んでください。

よくある質問

Q. AIに打ち込んだ内容は、AIの勉強に使われますか？

サービスと設定によって違います。

気になる方は、設定画面で「学習に使わない」の項目があるか確認してください。

ただし、**設定がどうであれ、この付録のルールを守っていれば問題ありません。**

そもそも大事な情報を入れなければ、使われようがないからです。

Q. 声で入力するのは？

同じです。 打ち込むのと変わりません。文字になって送られます。

声だから安全、ということはありません。

Q. 写真を渡すのは？

患者さんの体や顔が写った写真は、渡さないでください。

院内の写真や、料金表の写真なら問題ありません。

Q. 保険の書類は？

渡さないでください。 氏名も保険証番号も入っています。

Q. うっかり名前を入れてしまいました

まず、その会話を終わらせてください（新しい会話にする）。

そのうえで、記録が残る設定になっていないか確認してください。

心配なときは、公式LINEで聞いてください。

最後に：3つだけ覚えて帰ってください

1. 名前・住所・電話番号は、絶対に入れない
2. 「Aさん・50代・女性」に置きかえれば、それで足りる
3. データを渡すときは、名前の列を消してから

この3つを守っていれば、安心して使えます。

線を引いてから使う。これが、患者さんを預かる仕事の作法だと思っています。

判断に迷うことがあったら、勝手に決めずに公式LINEで聞いてください。一緒に考えます。

広告のルールとAI 書いていいこと・ダメなこと

※ ブログ・チラシ・SNSを出す前に、必ず読んでください

はじめにお断りしておきます。私は弁護士ではありません。

ここに書くのは、実務でよく指摘されるところをまとめたものです。

最終的な確認は、行政書士・弁護士、または管轄の保健所をお願いします。

グレーだと感じたら、書かないのがいちばん安いです。

なぜ、これが要るのか

こんにちは。治療院ネクストの加藤です。

付録Cは「AIに何を入れていいか」（個人情報）の話でした。

この付録Dは「AIが書いたものを、外に出していいか」（広告のルール）の話です。

まったく別の話です。根拠になる法律も違います。

AIは、いくらでも上手な文章を書きます。

でも、AIは治療院の広告ルールを知りません。

平気で「治ります」と書いてきます。

それをそのまま出すと、指導を受けるのは先生です。

まず、いちばん大事なこと

先生がどの資格を持っているかで、かかる法律が変わります。

ここが分かっていると、この先の話が全部ぼやけます。

先生の立場	かかる主な法律
柔道整復師（接骨院・整骨院）	柔道整復師法 第24条（広告の制限）＋景表法
はり師・きゅう師・あん摩マッサージ指圧師	あはき法 第7条（広告の制限）＋景表法
整体・カイロ・リラクゼーション（国家資格なし）	上の2つはかからない。景表法＋医師法17条に注意

同じ「治療院」でも、守るルールが違います。

よくある勘違い：「薬機法」ではありません

「治療院の広告は薬機法に気をつけて」と、よく言われます。

これは、正確ではありません。

薬機法は、医薬品・医療機器・化粧品についての法律です。

つまり、

- サプリメントを売る
- 健康器具・機械を売る、または効果をうたう
- 化粧品を扱う

——こういうときに関係してきます。

施術そのものの広告は、薬機法ではなく、上の表の法律です。

ここを取りちがえたままAIに「薬機法でチェックして」と頼むと、
AIは見るところを間違えます。 柔整法24条の話が丸ごと抜け落ちます。

AIへの頼み方は、この付録の最後に載せてあります。

① 有資格の先生（柔整・鍼灸・あん摩）の場合

考え方が、そもそも逆です

ふつうの商売の広告は「**書いてはいけないことが決まっている**」方式です。

でも、柔整法24条・あはき法7条は逆で、

「**書いていいこと**」が、法律で決められています。

決められた項目以外は、原則として広告できません。

法律で認められている主な項目は、こういうものです。

- 施術者の**氏名**、施術所の**名称**・**電話番号**・**所在地**
- **業務の種類**（ほねつぎ、接骨、はり、きゅう など）
- **施術日**・**施術時間**
- そのほか、法律や告示で認められた事項

（健康保険（療養費）の取扱いがある旨 など）

※「**保険取扱**」と書けるのは事実ですが、何にでも使えると誤解させる書き方は危険です。

柔道整復の療養費は、骨折・脱臼・打撲・捻挫が対象です。

慢性的な肩こり・腰痛には使えません。

「保険が使えます」とだけ書くと、療養費の不正請求として指導の対象になり得ます。

「〇〇の場合は保険が使えます」と、対象を明記してください。

つまり、「〇〇が治ります」「腰痛専門」「日本一の技術」といったものは、ここに入っていない。

ただし、ホームページの扱いは別に考える必要があります

チラシや看板と、ホームページ・ブログでは、**実務上の扱いが違う場合があります。**

そして、この線引きは自治体（保健所）によって指導が分かります。

迷ったら、必ず管轄の保健所に確認してください。

「うちの県ではどこまで書いていいか」を一度聞いておくのが、いちばん確実です。

このハンドブックでは、**厳しめの側に寄せて書くこと**をおすすめします。

攻めた表現で新患が数人増えるより、**指導を受けないほうが安い**です。

② 整体・カイロの先生（国家資格なし）の場合

柔整法24条・あはき法7条は**かかりません**。

そのぶん自由に見えますが、**別のところが危ないです**。

医師法17条 — 「医業」と誤解させない

医療行為（診断・治療）は、医師にしかできません。

だから、次のような言葉は避けてください。

- 「**診断**します」「**治療**します」
- 「〇〇症を**治**します」
- 「**医学的に**」「**医療レベルの**」

代わりに使う言葉：「**施術**」「**整える**」「**ほぐす**」「**お体の状態をうかがう**」

「マッサージ」という言葉に注意

国家資格がない場合、「マッサージ」という言葉を、看板・ホームページ・ブログで使うのは避けてください。

「マッサージ」は、**あん摩マッサージ指圧師の国家資格を持つ人の業務**を指す言葉です。

無資格で使うと、**あはき法12条（無資格者の施術禁止）**に触れると見なされることがあります。

実務で、いちばん指摘されやすいところの一つです。

代わりに使う言葉：「**もみほぐし**」「**ボディケア**」「**整体**」

「先生」「治療院」という言い方も、ほどほどに

無資格の施術所が、医療機関だと誤解されるような見せ方をするのは危険です。

白衣・院内の雰囲気・言葉づかいを含めて、医療機関っぽく寄せすぎないことです。

③ 全員に共通：景品表示法

これは、資格があってもなくても、**全員にかかります。**

危ないのは、この3つ

1. 大げさな表現（優良誤認）

- 「必ず良くなります」「100%」「〇〇が完治」
- 「地域No.1」「日本一」「〇〇院で一番」

→ 数字の根拠を出せないなら、書けません

2. 体験談の使い方

- 「1回で痛みが消えました！」だけを並べる

→ 誰にでもそうになると誤解させると、問題になります

- 使うなら、「個人の感想です」だけでは足りません。

そもそも、平均的にどうなのかとかけ離れた話を前面に出さないことです

3. ビフォーアフター写真

- 撮り方・見せ方によっては、誤認をまねきます
- 使うときは、条件（回数・期間・個人差）を必ず添える

4. 口コミのお願いの仕方（ステマ規制）★ここは要注意

2023年10月から、広告なのに広告と分からない表示は、景品表示法違反になりました。

口コミをお願いすること自体は、問題ありません。

危ないのは、この2つです。

- 割引やサービスと引き換えに書いてもらう
- 書く内容をこちらで指定する、文面を渡す

これをやると「事業者の表示」とみなされ、

広告だと分かるように明示しなければならなくなります。

やり方	どうなるか
「よかったら口コミ書いてください」と声をかけるだけ	○ 問題なし
割引・特典と引き換えに書いてもらう	△ 事業者の表示とみなされ得る → 広告表示が必要
内容を指定する／文面をこちらで用意する	△ 同上
スタッフや家族に書かせる	× 論外です

いちばん安全なのは、

「よかったら、正直な感想を書いていただけると嬉しいです」

とだけ伝えて、あとは何も言わないことです。

このハンドブックでは、口コミを集めることをおすすめしています（5冊目・付録A）。
だからこそ、集め方を間違えないでください。

④ 使わないほうがいい言葉（まとめ）

CLAUDE.md（4冊目）に、このまま書いておいてください。

全員が避ける言葉

治る／治ります／完治／根治／必ず／絶対／100%
即効／永久／再発しません／医学的に証明された
日本一／地域No.1／〇〇院で一番（根拠が出せない場合）

整体・カイロの先生が、さらに避ける言葉

診断／治療／医療／処置／〇〇症を治す

言いかえの例

X 危ない	○ 言いかえ
腰痛が治ります	腰の負担がかかりにくい状態を目指します
治療します	施術します
必ず良くなります	お体の状態を見ながら、一緒に進めていきます
完治した症例	施術後の経過の一例（個人差があります）
地域No.1の技術	（書かない）

⑤ 症例をブログに書くときの4つの約束

症例ブログは、いちばん読まれます。だからこそ、ここを守ってください。

1. 本人の許可をとる

口頭でかまいません。ただし、**もらったこと自体を記録に残してください**。

声のかけ方の例

「今日のお話、名前は出さずに、ブログで紹介してもいいですか？

同じ症状で悩んでいる方の参考になると思うので。

もちろん、嫌でしたら全然かまいません。」

断られたら、絶対に書かない。ここは徹底してください。

2. 特定できる情報は変える

年齢は「50代」に、職業は「デスクワーク」くらいに。

勤務先・学校・店名・細かい地名は書かない。（くわしくは**付録C**）

3. 写真は、本人の許可なしに絶対に使わない

顔が写っていないくても、体の写真は許可が要ります。

4. 経過は「事実」として書き、効果は「断言」しない

ここが、いちばん混乱するところなので、はっきり書きます。

○ 書いていい 「3回目に、朝起きるのが楽になったとおっしゃっていました」 ← **その方に起きた事実**

× 書いてはいけな 「3回で腰痛が治ります」 ← **これから来る人への約束になっている**

起きたことを書くのはOK。

それを「誰にでも起きる」と読ませるのがNG。

ここに「**個人差があります**」を添えれば、さらに安全です。

⑥ AIへの頼み方（そのまま使えます）

書く前に、**CLAUDE.md** に入れておく

CLAUDE.md に、広告のルールを足してください。

【私の院の資格】

私は〇〇です（柔道整復師／はり師・きゅう師／あん摩マッサージ指圧師／
国家資格なし・整体）。

【文章を書くときに、必ず守ること】

- ・「治る」「完治」「必ず」「絶対」「100%」「即効」は使わない
- ・「日本一」「地域No.1」など、根拠を出せない一番表現は使わない
- ・体験談を、誰にでも当てはまるように読ませない
- ・（整体の場合）「診断」「治療」「医療」は使わない
- ・症例は、起きた事実として書く。これから来る人への約束にしない
- ・迷う表現があれば、書く前に私に確認する

書いたあとの、チェック用

いま書いた文章を、広告のルールの観点でチェックしてください。

私の院は〇〇（接骨院／鍼灸院／整体院）です。

- ・接骨院なら柔道整復師法24条、鍼灸院ならあはき法7条の広告制限
- ・景品表示法（大げさな表現・体験談の使い方）
- ・医師法17条（診断・治療と誤解される表現）
- ・口コミや体験談の使い方（ステマ規制に触れていないか）

危ない表現があれば、どこがどう危ないか教えて、直した文も出してください。

AIに書かせて、AIにチェックさせる。そのうえで、最後は先生の手で見る。

この3段階にしてください。

最後に：3つだけ覚えて帰ってください

1. 自分の資格でルールが変わる（柔整法24条／あはき法7条／医師法17条）
2. 薬機法は「物を売るとき」の法律。施術の広告とは別
3. 起きた事実は書ける。これから来る人への約束は書けない

この付録は、実務でよくあるところをまとめたものです。

最終的な判断は、**管轄の保健所や、専門家に確認**してください。

グレーだと感じたら、**書かない**のがいちばん安いです。

判断に迷うことがあったら、公式LINEで聞いてください。一緒に考えます。

治療院ネクスト | 加藤 賢

※ このハンドブックの内容は2026年8月時点のものです。料金や画面は変わることがあります。

※ つまづいたところは、公式LINEでそのまま聞いてください。返信します。